

## 令和7年度 第2回進路指導研修会 実施報告書

1. 研修の目的 「society 5.0」「VUCAの時代」を生きる生徒たちを取り巻く社会環境は、大きく変化している。それとともに、各校でのキャリア教育の在り方も、変革の時期を迎えているのではないだろうか。今研修会では、社会・企業の求める人材の変化から見える高校での進路指導について研修し、各校の進路指導・キャリア指導・広報活動に活かす機会とする。
2. 会場 静岡県私学会館 5階会議室  
静岡県静岡市葵区追手町9番26号 TEL: 054-254-8208
3. 研修日時 令和7年11月21日(金) 14:45～16:40  
14:15～14:45 受付  
14:45～16:40 講演(途中休憩あり)
4. 参加対象者
  1. 進路指導や探究活動に関わっている教職員
  2. 進路指導と探究の接続を模索している教職員
  3. キャリア教育に関する自身の知見を広げたい若手教職員
  4. 各校の広報に携わっている教職員
5. 講演者 株式会社リクルート Division 統括本部まなび Division 進路支援統括部  
東名阪高校渉外部 東海グループ グループマネジャー 加納 万理子様  
演題「今まさに変化する『求められる人材』とは? ～進路活動・進路探究のアップデートに向けて～」

### 6. 講演内容

#### 1. 社会の変化・企業の変化

IoT、AIの発展にともなう変化の激しい社会情勢は、生徒のキャリア教育にも大きな影響を与えている。今まで以上に正解が見つからない VUCA 時代を生きる高校生にとっても、自身のキャリアの選び方もまた、大きく変化している。

#### 2. 求められる人材とは?

人生100年時代に求められる能力として、企業が採用時に重視しているポイントは、「素直さや誠実さなどの人柄」であったり、「コミュニケーション能力」「自社に対する熱意や意欲」など、テクノロジーではカバーしえない人間力の部分が大きい。その部分をキャリア教育の中で、どのように引き出し、育てていくか。

#### 3. 昨今の進路活動・進路探究について一高校現場で大切にしたいこと

保護者は「好きなことをしなさい」と言う。高校生は「好きなことってなんだろう」と悩む、先送りする。教員とは進路の話を個別にする時間は多くはない。教員にとっても個別対応する時間を確保するのは難しい。だからこそ探究活動を絡めながら、外発的動機による進路選択から内発的動機による進路選択に結びつく、進路指導・キャリア教育を進めていくことが重要である。

#### 4. あつめる学校・あつまる学校

何をどう学んでどうなれるのかを明確に理解してもらうために、学校を「魅せる・見せる」伝達方法の工夫を継続していくために、経営と広報の距離感は重要である。競合優位な独自性を維持するため、中期目標・戦略・計画から事業目標・戦略・計画の PDCA サイクルを回していくことが必要である。各校の教育目標やビジョン、社会環境やニーズ、学校資本(アセット)、教育理念(価値観)、競合校にない独自性を全教員で共有し、「〇〇な人材を育てたい」そのための教育や取り組み、環境を教職員が話せるか。

1. 今回の研修会の満足度を教えてください。

|       |     |
|-------|-----|
| とても満足 | 16名 |
| まあ満足  | 9名  |
| 普通    | 1名  |
| 少し不満  | 0名  |
| 不満    | 0名  |

2. 本日の内容を(一部でも)学校内の他の教職員にも伝えたいと感じられましたか？

|           |     |
|-----------|-----|
| とても感じた    | 13名 |
| 感じた       | 12名 |
| どちらでもない   | 1名  |
| あまり感じなかった | 0名  |
| 全く感じなかった  | 0名  |

3. 本日の内容について、特によかった箇所に○をつけてください。(複数回答可)

|            |     |
|------------|-----|
| 社会の変化      | 8名  |
| 求められる人材の変化 | 16名 |
| これからの進路    | 5名  |
| 広報の工夫      | 8名  |
| 進路と探究の連携   | 6名  |
| その他        | 1名  |

4. 他校事例について、もっと詳しく知りたいと感じられましたか？(複数回答可)

|                               |     |
|-------------------------------|-----|
| 自校の課題や理想を真ん中にしながら、一緒に設計したい。   | 4名  |
| 来期に向けて参考にしたい。資料など学校に持ってきてほしい。 | 11名 |
| 資料のみほしい。                      | 10名 |
| 特に必要ない。                       | 1名  |

5. 本日の内容に関わらず、もっと知りたいという内容があれば教えてください。

- ・進路探究の事例紹介(4名)
- ・新卒就職者の事情について。(採用面接でどこを見ているか、採用する・しないの判断)
- ・個人にあった教育計画の例
- ・自校の現在を知る中でのアドバイス
- ・後半部分(あつめる学校・あつまる学校)は特にじっくり聞きたかった。
- ・学校広報の事例
- ・社会から求められる人材と具体的な企業の取り組み。今後10年で何がどのように変化するのか？
- ・他校事例の紹介
- ・高校のOCプランニング、実施の流れ、運用など
- ・これからの進学ニーズはどのように変化していくか。何をもって志望校を選ぶようになるのか。